

試合開始のセレモニー

2014. 12. 31

セレモニーには決められた手技があるわけではありません。

- 1) 試合開始 7～10 分前に合図。選手をセンターライン付近のピッチ外に集る。
(チームによっては直ぐに集まらないので少しは早めに集合をかける)
- 2) 用具のチェックをする。(第 4 の審判員含め 2 人 1 セットで行う)

- 3) 試合球を GK に確認させる
- 4) ピッチに入場 (審判団を先頭に (4 審も一緒) 選手は 2 列で)

- 5) タッチラインから 5～10m 程度入ったところで横に並ぶ
- 6) 笛で前 (本部) 挨拶、観客が後ろにいる場合は後ろにも挨拶

- 7) 審判団の本部に向かって左側のチーム (アウェイ) が握手
- 8) 審判団の本部に向かって右側のチーム (ホーム) が審判団と握手

- 9) 審判団、キャプテンを残す
- 10) コイントス。勝ったチームが攻めるゴールを決める

- 11) 副審はゴールネットの確認、4Th はピッチから出てセンターライン付近で待機
- 12) 両チームの人数を目でチェック、副審も自分のサイドを確認 (指で数えない)

- 13) GK への確認
- 14) 主審は攻撃側のコートに入っていない事を確認

- 15) 審判団のアイコンタクト
- 16) 時計を動かす

- 17) Kick off の笛を吹く

文責 吉原